

—壊死性髄膜脳炎の477 Tくん—

突然フラフラと歩き方がおかしくなり、首が斜めになる症状が出て、いきつきの動物病院へ連れて行くと、CTとMRIが採れる大きな病院へいくようにと言われ翌日、別の病院へいき全身麻酔をかけCTとMRIを取りました。

診断結果は「壊死性髄膜脳炎（バグ脳炎）」と宣告されました。

突然のことで受け入れられない部分と病気に関してもわからないことばかりだったためインターネットで検索し、いろいろなことを知りました。

短期間で症状が悪化し、痙攣や発作、食事もできなくなりステロイドの副作用で内臓への負担も多く死に至る病気…。

原因もわからず、手術もできず、完治が難しいこと、薬がきいても多少の延命しかできないと言われる病気でした。

そんな中、「ペット気功」の存在を知り、すぐに電話をして相談をして気功による治療をはじめ、3度目の首の傾きもまっすぐになり、歩く際にふらつくこともなくなり、引っ越しにより遠隔の気功治療になりましたが、獣医さんが驚くほどの回復を見せてくれました。

病院では徐々にステロイドを減らしていき、また症状が出るのではと心配でしたがなにもせず昨日ステロイドは飲まなくていいと診断ができました。

髄膜脳炎と言われながら、2ヶ月でステロイドも終わり、まったく症状もでなくなり元気なTちゃんを見て、病院の先生も「今までみた壊死性髄膜脳炎の症状とはまったく違いますね。不思議です。」とびっくりされていました。私も本当にうれしいです。

また、いつ症状が悪くなるかとか心配はありますが、これからも気功を続けて元気でいてほしいです。